

令和7年度 在宅医療・介護連携推進事業活動報告

★ 出前講座「人生会議」開催 ★

令和7年度の「人生会議」周知活動は、広報もりおかに掲載し年2回の開催と、中央公民館「学びの循環推進事業」へ講師登録、老人クラブやサロンなどからの依頼で出前講座として開催。

～みんならぼカードを体験し楽しく「人生会議」～

第1回・・・4月15日号 広報もりおか掲載

日時：令和7年5月16日 10時～11時30分

会場：愛宕山老人福祉センター 機能訓練運動室

参加者：9名

カードゲームを通じて自身の思いについて楽しく語り合い、これからの時間を自分らしく過ごすため、今から何をしなければいけないかお互い確認しあう様子がみられました。何かから話していいかわからない「人生会議」ですが、参加者は真剣に考え「わたしの生きるノート」に書き残していました。

第2回・・・自治会より依頼

日時：令和7年7月14日 10時～11時30分

会場：山岸5丁目公民館

参加者：15名

参加者全員が女性で、皆さん顔見知りだったこともあり会話が弾んでいました。それぞれの体調についても状況を理解し声を掛け合う様子が見られました。独居の方や老老介護の方も多く「人生会議」では身体面についての不安だけでなく、遺産や墓の事等、いろいろなことに不安を感じていることが理解できました。



★ 多職種研修会 ★

第1回

テーマ：「利用者・家族からのハラスメントについて
～予防と対策～」

日時：令和7年7月29日（火） 18：45～20：45

会場：マリオス18階 188会議室

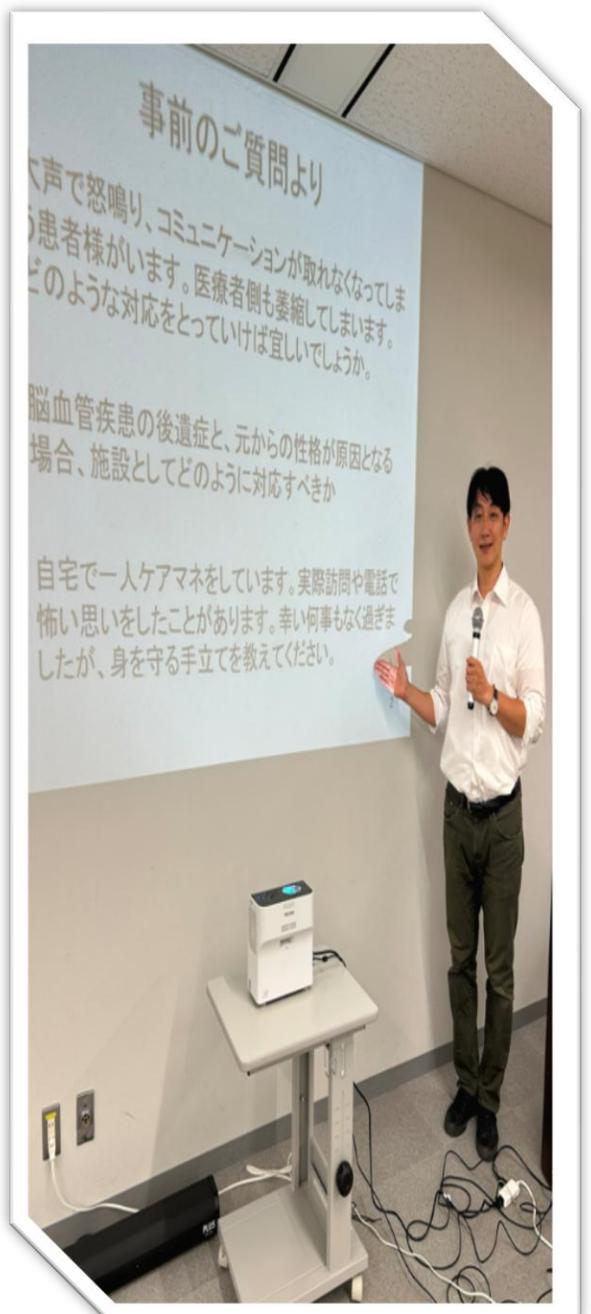
講師：外岡 潤 氏

弁護士法人おかげさま 代表弁護士

参加者：69名

法律に詳しい弁護士の方からの講義という事で事例や判例を通しての対策を聞く事ができ、参加者は今まで曖昧であった事象について改善策や対応策が見出しやすく、研修に参加された多職種の方々に納得いただける講義でした。

参加者からは、「具体的な事例を挙げながらわかりやすく説明されていた」「カスハラの見極め方を理解できた」「コンプライアンスを重視していきたい」「思った以上にわかりやすく我が事としてとらえてイメージすることができました」等肯定的な意見が多く、満足度の高さが伺えた研修でした。



第2回

テーマ：「医療と介護の本質にふれる人生会議」
～あなたもカードゲームで体験してみませんか？～

日時：令和7年10月23日（木） 18：30～20：30

場所：マリオス18階 188会議室

講師：杉山 賢明 氏

一般社団法人 みんなの健康らぼ 理事

参加者：37名



第2回の研修会は「人生会議」の普及啓発の取り組みの中で主な課題とされる「国民の認知度の低さ」と「話し合いが難しいこと」につきまして「どのような医療やケアを受けたいか」ととどまらず「いまどの様に過ごしたいか」を考える「広義の人生会議」の啓発活動を全国で展開されている杉山賢明先生に講演をお願いしました。



講演では「医療と介護の本質と人生会議はなぜ関連するのか」を命題とし、人生会議とは何か、なぜ人生会議が大事なのかについて、先生自身の経験等を交えながらわかりやすくご講義いただきました。研修の中ではみんらぼカードを使ってカードゲームを参加者全員に体験していただきました。余命2ヶ月と宣告された疑似体験から、自身の価値観等に気づくことができる貴重な体験となりました。この体験から支援対象者の思いについて「何を聞いたらいいか」「何から話せばいいか」と不安を感じていた参加者も、みんらぼカード等を一つのきっかけづくりとして今後実践できると多くの方が回答していました。在宅で支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で望む支援が受けられるよう「人生会議」の普及啓発に役立つ研修となりました。



★ 多職種事例検討会 ★

第1回

テーマ：「高齢者の意思決定!!

救急搬送時の課題から見える支援の在り方」

日時：令和7年8月22日（金） 13：30～15：30

会場：アイーナ 501

講師：救急係長 高橋 潤哉 氏

盛岡地区広域消防組合消防本部警防課

参加者：36名



救急隊員が高齢者の救急搬送時課題と捉えている「本人の意思確認ができない」「本人の意思に沿わない救急搬送」に焦点を当て事例検討会を行いました。在宅支援する多職種が事例についてグループワークを行い、高齢者がどのような最期を望むのか、本人の意思を確認するタイミングや聞き取りの内容・方法などについて意見交換を行いました。職種によって関わり方や支援方法が異なり「多職種間の相互理解につながった」との意見を多くいただきました。



患者様・利用者様がACPについて理解することは、支援するうえで重要であることは理解していたが、ACPについてどのように聞き取りすればいいか、説明の方法はどうすればいいか等、不安を感じている職種が多いと感じました。支援をする側、支援を受ける側、双方がACPについて正しく理解することが、必要な支援・適切な支援につながり、ひいては高齢者の適時・適切な救急搬送につながると、学びの時間となりました。

救急搬送時の現状や救急隊の活動、救急車を適時・適切に利用することの重要性についてわかりやすいご講義をいただき、多くの受講者が理解し、今後の業務に役立てられる講義内容となりました。





出前講座「人生会議」



～みんならぼカードで楽しく人生会議～

※ 広報もりおか掲載・・・年2回開催

1. 日 時：5月16日（金）10：00～11：30

会 場：愛宕山老人福祉センター 機能訓練運動室

参加者：9名（男性3名 女性6名）

<参加者の声>

- ・みんならぼカードゲームは素晴らしい！自分の考えや気持ちがいかにしっかりと意識して整理することが大切であるか気づかされました。
- ・何度か家族・友人と話す機会はありましたが、大変具体的に考え、進めることができそうです。

その他、「人生会議」についてよくわかった。自分らしく人生を過ごすことについて考える機会になったとの評価をいただきました。

2. 日 時：9月26日（金）13：00～14：30

会 場：仙北地区活動センター

参加者：4名（男性1名 女性2名）



<参加者の声>

- ・みんならぼカードゲームを行って、家族が一番大切だ！と思った
- ・「わたしの生きるノート」の記入を行い、一度記入しても、思いや希望等変化があった場合は変更できることがわかった。
- ・居住近くの老人福祉センターにも出前講座して欲しいとの要望もありました。
- ・その他、「自分らしく」を考えるのが難しい、ストレス感のある講習にも思えたとの意見も聞かれました。



※ 地域の集まりなど依頼を受け出張

1. 日 時：7月14日（月）10：00～11：30
会 場：山岸5丁目公民館
依頼先：山岸5丁目自治会
参加者：15名（女性15名）



<参加者の声>

- ・とても分かりやすくてよかった。今後役立てたい。
- ・みんならぼカードで皆さんと楽しく語ることができて楽しかった。わたしの生きるノートは必要と思いました。その他勉強になりました。又聞けたらいいと思います。とのご感想をいただきました。

2. 日 時：9月30日（火）10：30～12：00
会 場：西青山三丁目公民館
依頼先：中央公民館「学びの循環推進事業」より
かつらぎ会
参加者：13名（女性7名、男性6名）



<参加者の声>

- ・人との共有が大切であると感じたし思った。
- ・よく理解できました。かかりつけ医について確認できました。
- ・日々楽しく生きること。あとは成り行き次第。

<感想>

老人クラブの活動で出前講座「人生会議」を開催しました。近隣の方々の集まりであり、楽しくカードゲームを行う様子が見られました。講座前に「人生会議」について「今までに聞いたことがある」と答えた方が1名のみであり、周知活動の必要性を感じました。



※ 地域の集まりなど依頼を受け出張

1. 日 時：11月4日（火）10：00～11：30
会 場：東太田公民館
依頼先：アップルスマイルクラブ
参加者：7名（女性7名）



<参加者の声>

- ・今日は人生を考えるいい機会になりました。楽しかったです。
- ・自分ではっきり意識していないことがカードを読むことで気づくことがあり大切なカードと思った。
- ・自分の最後について、考える機会がないので、とても良い機会になりました。ありがとうございました。とのご感想をいただきました。



1. 日 時：11月12日（水）10：00～11：30
会 場：三本柳自治公民館
依頼先：老人クラブ
参加者：18名（女性6名・男性 12名）



<参加者の声>

- ・人生の最期について考える機会となった。
- ・1年に1回はこのような日があった方が良く感じました。自分の事なので考える機会になりました。
- ・今後もこのような勉強をしたい。

<感想>

男性の参加が多く、これからの事について真剣に考えている様子が印象的でした。



※ 地域の集まりなど依頼を受け出張

1. 日時：11月28日（金）13：30～15：00
会場：おでんせデイホール
依頼先：おでんせ介護支援センター
参加者：8名（女性8名）



<参加者の声>

・父（92歳）母（89歳）の最後について話せてないですが、今日のお話を聞いて少しずつでも希望を聞いていかないといけないと思いました。



・わかりやすい説明でありありがとうございました。自身はケアマネジャーとしてその人のフィナーレをどのように支援するのかと考えていきます。

こういったノートがあると支援する側はありがたいです。

令和7年度 盛岡市在宅医療・介護連携推進事業

出前
講座

人生会議

無料

考えてみませんか？



自分らしい生き方・逝き方

幸せに歳を重ね、人生の最後まで自分らしく
豊かな人生を過ごすために



みんなで
楽しく語り
合いましょ
う!!

内容： みんならぼカードを使って人生会議!!
わたしの「生きる」ノートを書いてみましょう。

対象者： 市内在住の65歳以上の方10名程度

期間： 5月～11月の平日（月～金）10時～15時の間

時間： 60分～90分程度

サロンや老人クラブ等、
地域の集まりに出張いたします。

*講座開催まで2か月ほどお時間をいただく場合があります。

詳細につきましては直接お電話で！

まずは ☎019-613-8144 ご連絡ください。

盛岡市長寿社会課地域ケア係

医療・介護連携コーディネーター 滝村・三浦





多職種事例検討会



第2回

テーマ：「非がん患者の看取りの支援の在り方」
～人生の最終段階における

意思決定支援から在宅看取りまで～

日時：令和7年12月3日（水） 18：30～20：30

会場：マリオス 185.186会議室

講師：医療法人謙和会

荻野病院 院長 荻野 義信 氏

参加者：40名



今回の事例検討会は、非がん患者（パーキンソン病）の在宅での看取りまでを想定し、本人の意思決定に基づいた切れ目ない医療介護の支援について多職種それぞれの思いや考え方を共有することを目的に行いました。今回は医療職の参加が多く、7グループに各1名以上医療職を配置し意見交換を行いました。介護職と医療職の視点の違いを相互理解したうえで情報共有し支援する事の重要性に気づきがあったと思います。



荻野医師からの講義ではACPをどの時点で実施すべきか、それは終末期の医療処置についての判断に限ったことではなく、それまでの生き方など本人の価値観や希望について話し合い共有していくことが重要と話されました。意思決定支援においては結果が重要ではなく、話し合う過程が重要との言葉があり、これからの支援に大いに役立つと感じました。

最後に架空事例の内容について薬剤や看取った家族に対してのアプローチの重要性などアドバイスをいただき参加者の皆様にも新たな学びのある検討会でした。

